

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	21553	
事業名	集団資源回収奨励費						
評価担当課	所属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2928	
施策名	誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに積極的に取り組むと						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託			● 補助・助成 ○ その他			
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	既存の民間の回収ルートを活用した集団資源回収は、本市処理費用(燃やせるごみ、雑がみ等)に比べ、10分の1のコストで処理できる仕組みであり、本市のリサイクル施策の中心的な取組となっている。 新聞等の発行部数の減少等、紙の流通量自体の減少が、集団資源回収量減少の要因となっている。					
	事業内容(何を実施し)	市民の自発的なリサイクル活動である集団資源回収の実施団体及び回収業者に対し奨励金を交付するとともに、集団資源回収がより利用しやすいように情報提供環境を整備する。 ①奨励金の交付:町内会、PTA等の住民団体が回収する古紙(新聞、雑誌、ダンボール、紙パック)、びん、金属、布の4品目を対象に、回収量に応じた奨励金や加算金を交付する。また、回収業者に対しても奨励金を交付する。 ②住民団体が資源物(新聞、雑誌、ダンボール等)を共同で収納するための保管庫を設置するための経費を補助する。 ③集団資源回収奨励金の交付に係る事務作業等のほか、ごみ分別アプリやホームページの更新など、情報提供環境の整備を行う。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	新聞・雑誌・ダンボールなどの資源物が回収され、それらのリサイクルが進むことによって資源循環を促進していく。					
	他都市の状況	実施団体に対する奨励金交付は、広島市を除く19政令市で実施(単価1~7円/kg)。業者に対する奨励金交付は本市を含め10政令市で実施。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	173,674 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和6年度予算額	185,140 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和6年度決算額	169,258 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
令和7年度予算額	179,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1 人工		
指標	アウトプット活動指標1	集団資源回収量			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		34,419t	34,870t	31,510t	29,592t	27,818t	26,176t
	アウトカム成果指標1	燃やせるごみ内の主要古紙量			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		2,897t	3,750t	3,752t	2,550t	1,250t	0t
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		登録団体数及び受付件数は微増しているが、紙離れに伴う新聞や雑誌の発行部数の減少の影響を大きく受け、回収量は減少傾向にある。				
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	集団資源回収の更なる利用促進について検討を進めていく。						
来年度以降の方向性	市民意識調査の結果では、利用しない理由として「回収日が分からない」、「ルールが分からない」という回答がいずれも2割を超え、市民への浸透という点においては改善点が残されていることから、普及啓発活動を強化する。						